

付帯調査（自由意見）

（令和3年3月調査）

景況調査票の自由意見欄に最近の状況や関心事について貴重なご意見をいただきました。ご多用中にもかかわらずご記入をいただき感謝申し上げます。以下に、それぞれの特徴的なご意見を掲載いたします。

なお、掲載にあたり若干の加筆・修正を加えています。

図表1 最近の状況や関心事

分類項目	回答数※
1. 経済・景気動向	122
2. 業界の動向	70
3. 顧客・得意先	73
4. 為替	11
5. 金融・資金繰り	48
6. 売上・収益	105
7. 物価変動	14
8. 消費税	31
9. 人材の確保・育成	29
10. その他	29

※複数回答

1. 経済・景気動向について

○ 事務機、コンピュータ向けの金属部品製造は新型コロナウイルス感染症発生前よりは下回っているが、秋口に比べかなり注文は増えている。

（金属素形材製品製造業）

○ 新型コロナウイルス感染症の流行下であるが、前年と比較して社会の動きが活発になっているように感じる。3月、4月に向け受注が入る予定である。

（理化学・光学機器製造業）

○ 自粛と緊急事態宣言が続き、取引先の存続が危ぶまれている。

（装身具・身の回り品卸売業）

○ 株価高騰は景気に反比例しており、もう少し見極めが必要と思われる。自動車は回復しているようだが、まだ当方の業界には恩恵がない。

（鉄鋼・石油・鉱物卸売業）

○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、来店客数の減少だけでなく、メーカーや問屋のものづくりや体制も大きく変わり、新しい仕入先を探している。

（化粧品小売業）

○ 大学のオンライン授業で地方から上京してくる新入学生がいない。学生向け賃貸ワンルームの空室が長期間にわたり目立っている。新型コロナウイルス感染症が終息して学内での授業を早く再開してほしい。

（不動産賃貸・管理業）

○ 1年先の状況が全く見通せないことが、これほど事業継続を困難にするとは予想もつかなかった。当面は事業を実施しながらその都度、軌道修正して手探りで状況を打開していくよう努める。

（一般飲食店）

2. 業界の動向について

○ 需要は自動車を中心に盛り返してきているが、品薄、価格上昇で対応に苦慮している。

（鉄鋼・非鉄金属製造業）

○ 半導体関係は異常なほど忙しく、今までの経験では考えられない動きだ。

（はん用機械製造業）

○ イベント・コンサートなどのエンターテインメント業は、インターネット配信の増加によりプロジェクターやLEDディスプレイなど設備投資したものが使われず、売上や利益が低い。この流れの中では、会社を存続する事が難しい。

（産業用機器賃貸業）

3. 顧客・得意先について

- 二回目の緊急事態宣言により、顧客の購買の動きが鈍くなったようだ。今まで生産してきた製品だけでなく、顧客のニーズにあった製品を創造する方向性で社内の改善に取り組む予定だが、具体的な見通しはまだ検討中。(かばん・袋物製造業)
- 1月と比べ明らかにお客様が来店されなくなった。1月も12月と比べて散々たるものだったが、やはり緊急事態宣言の影響が大きい。また、今回の宣言の効果が目に見えて大きいわけではないだけに、宣言があけてもそれほどお客様がもどってこなさそうに感じる。(かばん・袋物小売業)
- お客様の年齢が高いため新型コロナウイルス感染症を怖がり、来店者が減少している。(美容業)

4. 為替について

- 海外からの調達が多いので為替変動の仕入原価に対する影響は大きいものがある。(スポーツ・玩具卸売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 2月の売上は増加したが人件費その他の経費が大きく負担になり、資金繰りは厳しい。(パン・菓子製造業)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、今後の見通しが見えない。資金繰りも大変で事業を維持していけるのか不安である。(スポーツ用品小売業)

6. 売上・収益について

- エンドユーザーの設備投資縮小により売上減少。景気回復を待つしかない。(産業用機械製造業)
- 12月、1月と仕事量が多く、電気自動車関係で売上も順調だった。昨年前半は新型コロナウイルス感染症の影響で、仕事もなく借入して資金をつないだ。早く景気が良くなることを望む。(金型製造業)

- 人の動きが制限されているためか売上が上がらない。(医薬品小売業)
- 出張業務が7割を占めるが、新型コロナウイルス感染症対策のため各地で計画の延期や中止が出ている。また、感染症対策として時差通勤、車両通勤など経費負担が増えている。(計量・非破壊検査業)
- 新型コロナウイルス感染症の対策・対応を徹底して営業しているものの、会員数の減少やイベントが全て中止となり経営を圧迫している。(スポーツ施設提供業)

7. 物価変動について

- 中国の仕入先から原材料価格上昇による値上げ通告がしばしば来るようになった。(文房具・事務用品卸売業)

8. 消費税について

- 4月からの消費税の総額表示によって消費動向が変わることが懸念されるので、商品価格を下げるかを検討している。また、それに伴う手間とコストも負担になる。(食肉小売業)

9. 人材の確保・育成について

- 不況のため容易に人材が確保できると思っていたが、実際には難しい。(金属加工機械製造業)
- 従業員の多くは外国人留学生だが、アフターコロナになった際、そのほとんどが帰国する予定。急に人手不足状態に陥ると想定しているが、対応する手段が思いつかず、苦しい状況。(コンビニエンスストア)

10. その他

- お客様、従業員ともに、長引く新型コロナウイルス感染症の対策に慣れてきてしまっている。売場では密を避けなければならないのに、昨年春とは明らかに違うので、お互い改めて感染症対策を見直し、実施する必要があると感じる。(各種食料品小売業)